COMMODITY CASE FOR PLACING AND SELLING

Utility Model Number: JP47042226Y1

Publication date: 1972-12-20

YASUSHI TANAKA

Inventor(s): Applicant(s):

ERIKA CORP

Requested Patent:

Applicant Number: JP19680047187U 19680607

Priority Number(s): JP19680047187U 19680607

IPC Classification: A47F101/73

Abstract

OBJECT: The present invention has its object for producing a commodity case for placing and selling, which is produced easily, and has inspiring looks and toughness. CONSTITUTION: A commodity case for placing and selling, which is obtained by high-frequency bonding the top of the open part of the plastic sack body placing the commodity to the edge of a mounting formed by a polymer film layer comprising the same material of the sack body as the sack body reversing.

2006年 2月 2日 12時18分

Dint.Ol. A 47 f

68日本分類 101 J 73

日本資特許庁

印実用新案出顧公告 昭 47~42226

@実用新案公報

公公告 昭和 47 年(1972) 12 月20 日

(金 2 頁)

1

図商品収納販売ケース

の実 題 昭43-47187

御田 願 昭43(1968)6月7日

(72/** 集 岩 田中泰

東京都中野区新井2の35の3

顧 人 株式会社エリカ 勿出 同所

代 瑪 人 弁理士 平井二郎

図面の簡単な説明

図は本考集の実施例を示すもので、第1図は本考 発ケースを陳列接止板に取付けた場合の正面図、第 2 図はケースの正面図、第3図は同側面図、第4図 はケース上辺部分の要部断面図である。

考案の詳細な説明

本海棠は各種の商品を合成樹脂の愛体に収納し腹 列販売されるケースの改良に関するものである。:

従来との種のケースは袋体上辺に製造元成いは商 ては単に陳列するのみではなく多数のケースを壁に 樹架した陳列基板に接着簡架している。然し袋体上 辺に取付けられる台紙は、鈴体上辺でホンテキスに より止着されているものが多かつた。この場合止着 作業に呼間を要するばかりでなく、外鎖の体験が良 25 装状態を確保している。 くたく、又ホッチャスの針の折損或いは止着部の袋 体のフィルムの破損等で紙板が除去されたり、内部 商品の完全な包裝が出来ず魔が侵入する等好をしく たい問題点が多々見られた。

本考案はとれらの欠点を改善し外観優美で商品価 50 値を一層向上せしめたるものである。

以下本考案の実施例を図により説明すると、第2 図乃至第4図に示すように、袋体1の閉口部上辺を 該数体1と同質材料の被膜加工2を施した台紙2の 端縁に高周波接着により溶着3したものである。

この接着の際第4図の断面図に示すように殺体1 の上辺端線に台紙2の下辺となる端線を上向きにし てとれと揃えて重合並列させ高周波接着した後に下 2

向きとなっている台紙2の上辺となる端級を反転さ せて上向きさせることにより殺体!の溶剤部3に折 曲部7が形成されて、袋体1が台紙2に垂下された 状態となる。

との溶着部 3 に形成される折曲部7 は、直接スト レートに食合酵差したものに比較して台紙2との接 着部分に於いてふくらみが出来外観上優美感を与え る効果を有する。

又高周波接着作業の際、台紙1の下辺端縁線に沿 10 つて袋体1の上辺端鐵線を合せて重合することによ り全端級線が一蘊に揃い接着位置決めがすとぶる容 島で、作業が簡単であると同時に、接着仕上りも不 揃が生することなく出来上るものである。

更に台紙2には接着する契体1の材質と同質の樹 15 脂加工を施した被膜 2分形成されているから勿論完 全なる接煙効果を有し、又台紙2自体も強靱となり、 袋体1との接着部分或いは台紙2の破損のおそれは 全くない。従つて第2図の如く台紙2に绑孔8を設 け、これを第1図に例示するように對止陳例基根に 品名を記入した紙板が取付けられ、販売方式によっ 20 掛止具 5 等を介して歴架する場合でも、袋体 1 内の 商品に重量があつても破損するととなく確実に懸架 状態を維持しているものである。又袋体1と台紙2 との接着部分は全体に亙つて密着、密封状態である から塵等が染体1内に侵入することもなく完全な包

> 以上の通り本考案は、製作容易にして外観優美を 強靱なる商品販売ケースを安価に提供するものであ ð.

実用新業登録請求の範囲

適宜の商品を収納する合成樹脂製設体の開口部上 辺を、該袋体と同質の樹脂被膜層を施した台紙の端 級に、前配袋体開口部上辺を反転して高周波接着し て成る商品収納販売ケース。

引用文献

公 昭36-735

-167-

